

ヘッドウォータース、暗黙知を AI 活用が可能な構造化データへ変換する  
「SyncLect Data Intelligence」を発表  
～自律型 AI の本番導入に向けた壁を突破する独自エンジンを提供～



Announcement 

**SyncLect Data Intelligence**  
- "Data First" for L4 -

業務プロセスの暗黙知問題を解消する為に  
SECIモデルの思想に基づき  
「会話から業務コンテキスト・オントロジーを抽出  
するAgent群

AI ソリューション事業を手がける株式会社ヘッドウォータース（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下「ヘッドウォータース」）は、企業の業務現場に存在する暗黙知を AI が活用可能な構造化データへ変換する独自エンジン「SyncLect Data Intelligence」を発表しました。

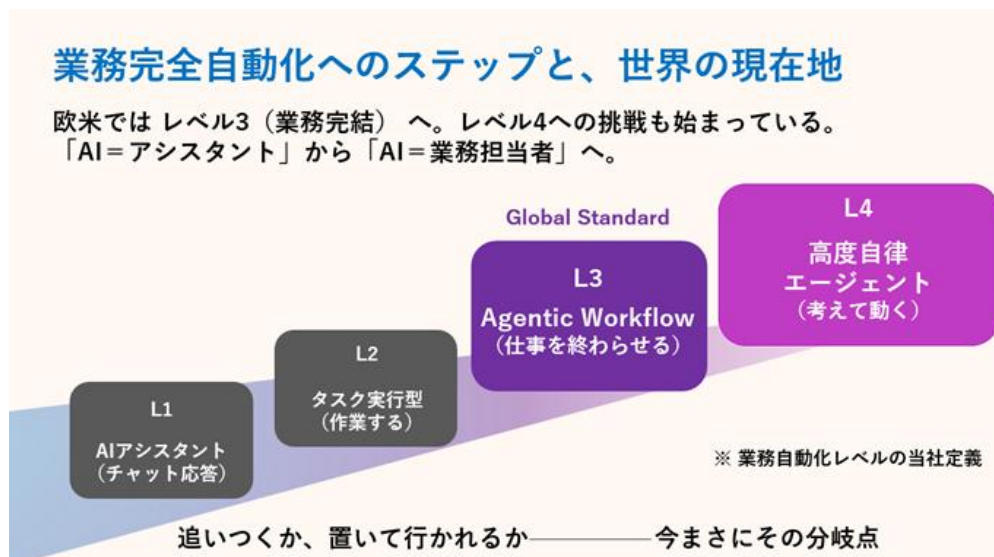
本エンジンは、業務の会話やヒアリング、会議、対話に埋もれている判断基準、例外処理、役割分担、前提条件といった業務コンテキストに加え、業務の役割、対象、条件、イベントや関係性などを体系的に整理した業務オントロジーを抽出し、AI が活用できる知識資産としてデータを整備することで、AI エージェントの実業務への本番導入と成果の最大化を支援するものです。

あわせてヘッドウォータースは、本エンジンをもとにして、金融・製造・モビリティのバーティカルソリューション（業界特化型ソリューション）の提供を開始します。すでに提供している独自の「X-Tech FDE」と組み合わせることで、暗黙知の抽出から業務文脈の整理、ソリューションの最適化・チューニングまでを伴走型で支援し、PoCにとどまらないAI エージェントの本番実装を加速します。

## ■ エンジン提供に至った背景

近年、企業の業務プロセス自動化は、世界的に「L1～L4」へ段階的に高度化しています。現在、日本国内ではL1～L2レベルのAIエージェント活用が主流であり、AIエージェントの自律的な意思決定が業務全体に関係してくるL3～L4への移行が大きな課題となっています。最大の障壁は、実務に必要な判断基準・例外処理・前提条件などの業務知識が未構造化のまま暗黙知として存在し、業務担当者・責任者の頭の中に依存したまま残っていることです。

ヘッドウォータースではこの暗黙知に対する課題に向けて取り組んでおり、単にAIモデルやUIを導入することではなく、企業固有の業務知識をAIが継続的に読み取り、活用できる形へ変換することが重要と考えています。SyncLect Data Intelligenceは、この課題に対応するために開発したヘッドウォータース独自のエンジンです。

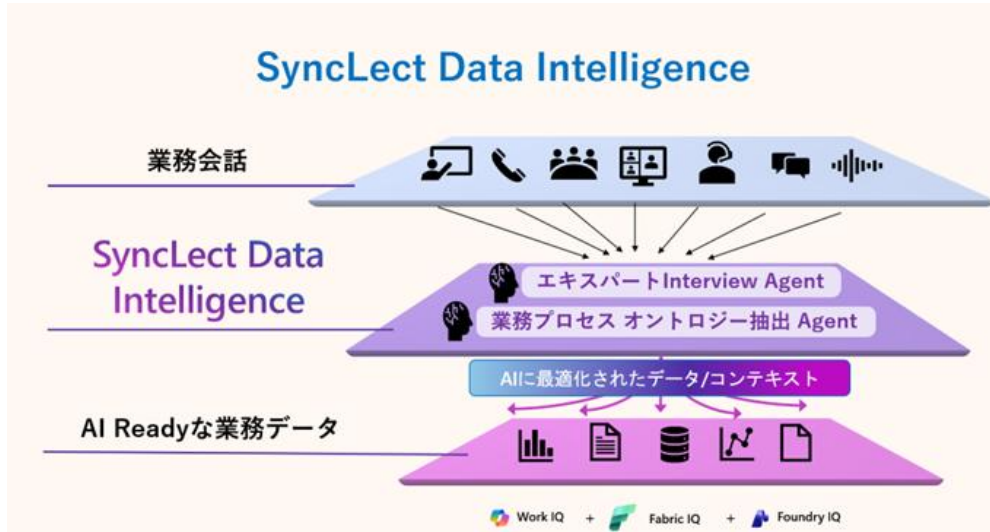


## ■ SyncLect Data Intelligence とは

SyncLect Data Intelligence は、業務会話、ヒアリング、会議などの情報から、業務に関する判断基準や役割、対象、条件、イベントなどを抽出し、AI Ready と呼ばれる AI 活用に適した状態である構造化データへ変換します。

### <主な特徴>

- 暗黙知の AI Ready 化：会話の内容から業務上の判断基準・例外処理・役割分担等を抽出
- 業務オントロジー生成：業務に関する役割・対象・条件・イベント・関係性を体系化
- 2つのコアエージェントを搭載
  - エキスパート Interview Agent (※1)
  - 業務プロセス オントロジー抽出 Agent (※2)



※1 : エキスパート Interview Agent

ベテラン業務担当者や現場有識者に対し、AIが自律的に質問・深掘りを行い、判断基準、例外対応、属人的ノウハウなどの暗黙知を形式知化します。

※2 : 業務プロセス オントロジー抽出 Agent

会話の中から、業務上の役割、対象、条件、イベント、関係性などを抽出し、業務プロセスに関するオントロジーやコンテキストとして整理します。

■ 顧客企業への提供価値

SyncLect Data Intelligence の導入によって、顧客企業は次の価値を享受します。

- AI エージェントの本番導入に必要な業務知識基盤の整備
- 属人化リスクの低減と知識の資産化を実現
- 金融・製造・モビリティ等、業界別の要件に応じた自律型の AI エージェント導入が可能
- 本番導入後も業務知識の更新に対して継続的な対応が可能

■ 業界特化型ソリューションの展開

ヘッドウォータースは、共通基盤である SyncLect Data Intelligence を活用することで、以下の業界に特化したパーティカルソリューションの提供を開始します。これらのパーティカルソリューションにより、ヘッドウォータースは、共通基盤としての汎用性と、業界特化による実装現実性の両立を図ります。

1. 金融業界 : SyncLect Data Intelligence for Financial Services

金融機関特有の厳格な業務ルール、例外判断、顧客対応、事務センター運用、営業知見などの暗黙知を AI Ready 化し、実務で使える Agentic Workflow の本番導入を支援します。

## 2. 製造業界 : SyncLect Data Intelligence for Manufacturing

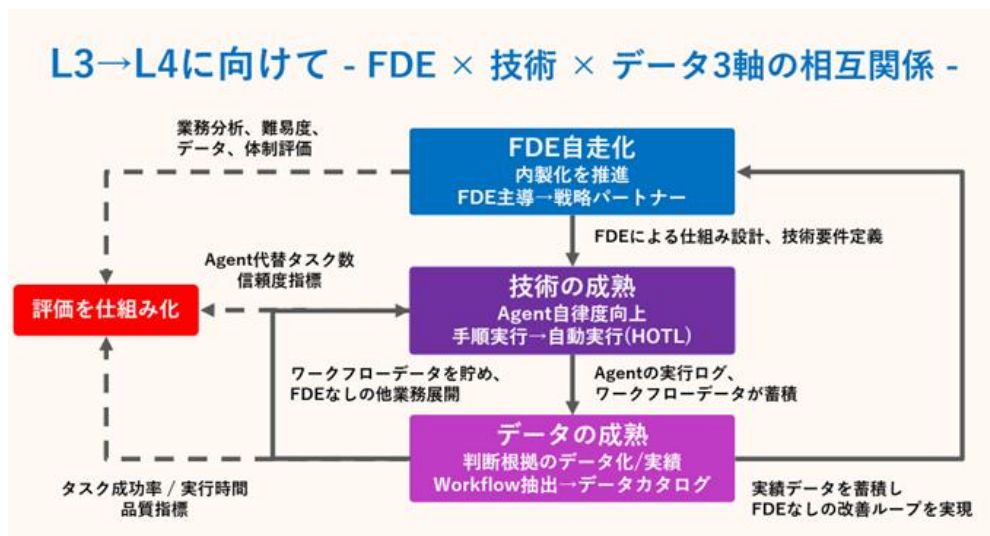
製造現場における品質対応、設備保守、現場判断、技能継承、部門横断の業務連携など、現場に蓄積された知見を構造化し、AI エージェントに接続します。

## 3. モビリティ業界 : SyncLect Data Intelligence for Mobility

運輸・交通・モビリティ領域における運行判断、現場オペレーション、保守・点検、異常時対応、顧客接点業務などの暗黙知を可視化し、業務品質と自動化高度化の両立を支援します。

### ■ X-Tech FDE との連携

ヘッドウォータース独自の「X-Tech FDE」と「SyncLect Data Intelligence」を組み合わせ、暗黙知抽出から業務文脈整理、AI 活用設計、導入・チューニング支援までを一気通貫で提供します。PoCにとどまらず、現場レベルの運用を実現するための伴走支援体制を構築することで、技術とデータの双方が成熟して行き、業務プロセスの好循環を生み出していきます。



### ■ 各種エンタープライズ AI 基盤との連携

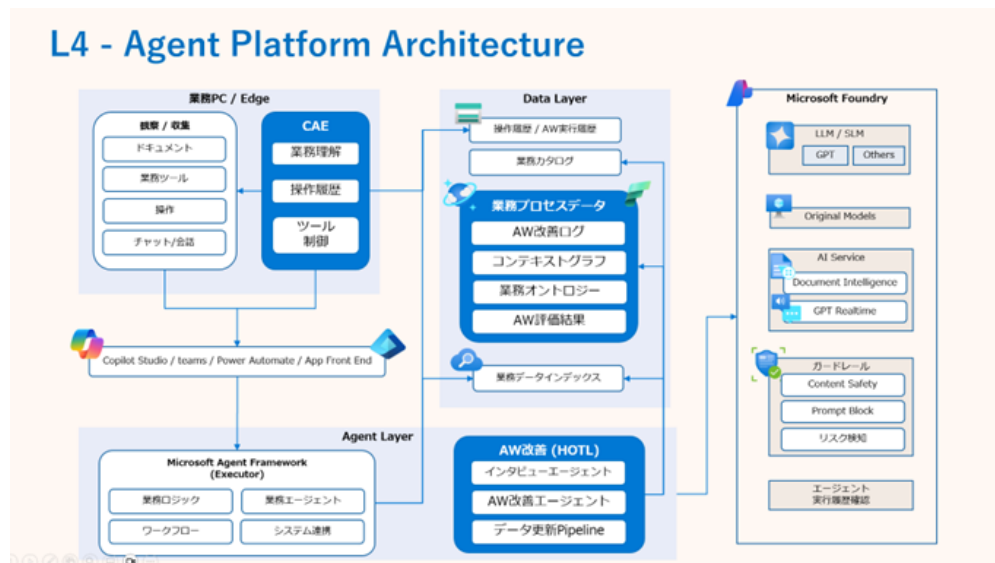
SyncLect Data Intelligence は、Microsoft Foundry や Microsoft Fabric など、AI エージェントソリューションおよびデータソリューションと連携し、企業内に独自の AI Ready 基盤を構築することを想定しています。

また、Microsoft Work IQ、Microsoft Fabric IQ、Foundry IQ といったインテリジェンスレイヤーソリューションと組み合わせることで、業務文脈、データの意味、ナレッジ基盤をより豊かにし、AI エージェントが適切なコンテキストを扱える状態を支援します。SyncLect Data Intelligence は、会話から抽出した業務コンテキストやオントロジーを企業固有の業務データ資産として整備することで、各種ソリューションが活用するコンテキストの質を高め、その価値をさらに引き出す役割を担います。

## ■ 提供形態

SyncLect Data Intelligence および業界別ソリューションは、正式提供に先立ち、先行導入プログラムとして提供を開始します。

先行導入プログラムでは、対象業務のヒアリング、会話データや既存業務データの整理、業務ごとの抽出対象設計、活用シナリオの策定を行い、企業ごとに最適な導入ロードマップの作成、基盤アーキテクチャの設計支援、実際のソリューションを活用した MVP 実装支援を実施します。



## ■ SyncLect Data Intelligence のイメージ動画

[https://www.youtube.com/watch?v=Ra1Xz\\_89Tn8](https://www.youtube.com/watch?v=Ra1Xz_89Tn8)

## ■ コメント

- 株式会社ヘッドウォータース 取締役 兼 IT インキュベーション事業本部長 西間木 将矢

AI エージェント導入の成否を分けるのは、モデル選定そのものよりも、企業固有の業務知識を、AI が理解し実行できる形へ変換できるかどうかにあると考えています。

当社はこれまで、AI の社会実装を進める中で、多くの現場担当者・現場責任者との対話を重ね、業務品質を支える判断基準や例外処理、長年の経験に裏打ちされた知見が、十分に形式知化されていないという課題に向き合ってきました。SyncLect Data Intelligence は、そうした暗黙知を、会話を通じて AI Ready な知識資産へ転換するために開発した独自エンジンです。

今後は、本エンジンを核に業界展開と継続的な機能拡張を進め、PoC にとどまらない、実務で使える AI エージェントの本番実装を支援してまいります。

## ■ 今後の展望

ヘッドウォータースは今後、業界・業務ごとのテンプレート化や、AI エージェント基盤・業務データ基盤との連携を進め、企業が AI を単なる補助ツールではなく、実務の担い手として活用できる状態の実現を支援してまいります。

また、会話、履歴、業務プロセスデータを継続的に蓄積・更新することで、将来的な高度自律エージェントの実装に向けたデータ成熟度の向上を目指します。

以上

## ■ 参考情報

- ヘッドウォータース、今年も Microsoft AI Tour Tokyo に登壇および出展～金融×AI の最前線を紹介～  
[https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft\\_ai\\_tour\\_tokyoai.html](https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft_ai_tour_tokyoai.html)
- AI 実装の世界的潮流「フォワードデプロイエンジニアリング (FDE) 」と「X-Tech」を融合し、AI プロジェクトの ROI 最大化を目指す「X-Tech FDE」を独自展開  
[https://www.headwaters.co.jp/news/x-tech\\_fde.html](https://www.headwaters.co.jp/news/x-tech_fde.html)
- エンタープライズ企業向け AI エージェントの業務実装を加速する 「コンテキストエンジニアリング」を強化 ～コンテキスト設計 (業務文脈設計) ×フォワードデプロイ(現場実装)を一気通貫で提供する国内稀有の体制へ～  
[https://www.headwaters.co.jp/news/enhanced\\_context\\_engineering.html](https://www.headwaters.co.jp/news/enhanced_context_engineering.html)

## ■ 商標について

Microsoft、Microsoft Foundry、Microsoft Fabric、Microsoft Work IQ、Microsoft Fabric IQ、Foundry IQ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。また、記載されているイベントや製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## ■ 会社情報

会社名：株式会社ヘッドウォータース

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設立：2005 年 11 月

URL : <https://www.headwaters.co.jp/>

## ■ 本件のお問い合わせ先

株式会社ヘッドウォータース

メール：[info@ml.headwaters.co.jp](mailto:info@ml.headwaters.co.jp)